

1夕の提供が令和8年1月であったことから今年度内の業務完了が困難になったため翌年度に繰り越すものです。

■文教社会分科会

問 酷暑と物価高騰の影響で小学校維持管理経費の電気料などが増額されていますが、今後の方向性を伺います。

答 校舎や体育館の空調機能をフル活用して子どもの安全を確保していますが、平成23年度までに全校の校舎に設置した空調機器が老朽化していますので、今後順次行う改修工事設計の中で快適な環境を検討したいと思っています。

問 生活習慣病検診事業費を増額する要因を伺います。

答 胃がん・乳がん・口腔がんの検診、肺がんのCT検診の受診件数が見込みを大きく上回ったためです。その要因の特定は難しいですが、受診勧奨通知や無料クーポン券の送付、健康フェスタの実施、乳がん検診を啓発するピンクリボン運動をはじめ機会あるごとに周知を重ねています。

■経済建設分科会

問 線越明許費が設定された上郷河原口本線側道（南側）改良工事の工事内容について伺います。

答 上郷河原口線が開通したことに伴い、図書館の駐車場が今までどおりの使用ができなくなったことに対する機能回復を行っています。そのため、既存の道路の一部を利用して図書館の駐車場を少し広げる形となります。今までは車道として道路がありましたが、今後は歩行者道路として供用する予定となっています。

議員提案の決議案は
賛成多数で原案可決

可決された「武力行使に抗議し、緊迫化する中東情勢の早期沈静化を求める決議」は、平和都市宣言をした市の議会として、米国とイスラエルの武力行使に強く抗議し、関係国に最大限の自制と事態の沈静化に向けた努力を求め、政府に、国際社会と連携しつつ緊張緩和と平和的解決に向けた外交努力を尽くすよう強く要望するものです。

予算に対する討論の概要

令和8年度予算（一般会計、4特別会計および1企業会計）に対し、5名の議員が各会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は千円）

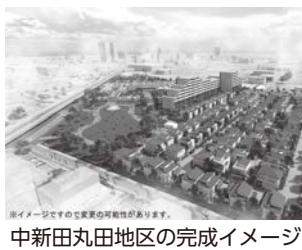
会計名	令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計	61,711,000	59,329,000	2,382,000	4.0%
特別会計	26,258,497	24,917,383	1,341,114	5.4%
国民健康保険事業	11,915,869	11,654,563	261,306	2.2%
介護保険事業	11,273,273	10,551,123	722,150	6.8%
後期高齢者医療事業	3,058,359	2,700,702	357,657	13.2%
公共用地先行取得事業	10,996	10,995	1	0.0%
企業会計	5,184,582	4,862,188	322,394	6.6%
公共下水道事業				
合計	93,154,079	89,108,571	4,045,508	4.5%

政進会

賛成

○全ての会計予算に賛成

▽市税の予算額は、前年度比11億200万円増の283億800万円となり、5年連続で過去最大となりました。人口増加や地価上昇などが背景にあり、まちづくりが着実に成果につながっているものと考えます。また、将来の財政需要を見据えた基金の繰り入れや市債の発行、国や県の補助金など、多様な財源を戦略的に活用している点が特徴です。必要な投資を適切な時期に行うため、将来を見据えて財源を組み合わせることは、「まちづくり第2ステージ」を着実に進めていくための積極的で責任ある財政運営であると評価いたします。▽「充実して暮らせるまち」では、自治会加入率低下という課題に対してみんなの自治会推進条例を制定し、集会所改修補助率の引き上げなど地域コミュニティの核である自治会への支援が強化されています。▽「健やかに暮らせるまち」では、公私連携型保育所の整備や5歳児健診のモデル実施、障がい者地域活動センターよつばの供用開始など、誰一人取り残さない支援体制の整備が進められています。▽「にぎわいがあり自然に優しいまち」では、企業立地促進支援方針に基づいた企業誘致による雇用創出と税収確保を期待しています。▽「便利で快適に暮らせるまち」では、中新田丸田地区の土地区画整理事業や海老名駅東口自由通路の延伸、第8回線引き見直しなど、将来の人口動態を見据えた都市整備が進められています。▽「豊かな学びを育むまち」では、教材費無償化や修学旅行費用補助の拡充など子育て世代の負担も軽減する取り組みが進められています。▽その他の事業についても、本市が持続可能なまちとして成長を続け、さらなる魅力向上と活性化につながることを期待し、賛成します。



※イメージです。実現の可能性はあります。
中新田丸田地区の完成イメージ